

新型コロナウイルス変異株による感染症拡大

地域行事など中止・延期に

正月明けから著しい新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大が続いています。吉川まちづくり自治協議会は、1月7日にあった東広島市からの連絡を受けて行事の見直しを行っています。この連絡の内容は、感染者数が極めて速いスピードで増加していることから、広島県は、1月9日から同日迄の「まん延防止等重点措置」を県



【2020年とんど】

南部の10市3町に適用することとした（14日から県内全域）。その内容は、①外出の削減、②飲食店などの利用と感染予防の③他地域への移動の自粛からなっています。一方、地域センター

の貸館業務については、①新規利用予約受付を中止、②既に使用許可を受けている団体については、対策を講じ利用可能、③令和4年2月1日（火）以降の利用予約は可能（感染状況により、利用制限期間の延長等）とする内容です。



【2020年互礼会】

あわせて、工業団地西隣のスポーツ公園は、新規利用予約を同期間中止することとなりました。

となりました。吉川自治協主催行事は、市からの連絡は、中止、延期、オンライン会議「を受けて対応し、飲食を伴う行事の自粛を引き続きお願いする」としました。

(1) とんどは、飲食を伴うことから全地区で中止。
 (2) 新年互礼会、中止
 (3) 吉川活性化プロジェクトチーム第19回会議（1月13日）延期
 (4) 第6回理事会（1月29日）延期
 (5) 不法投棄缶瓶回収作業（2月6日）中止
 (6) 学生協働支援隊等との打合せは、オンライン会議を原則

これからの対応については、県市からの規制に係る連絡や第3回ワクチン接種の状況を踏まえて検討していくこととし、地域の対応を適時報告していきます。

よしかわだより

令和4年1月22日 (2021-09)



発行者:吉川まちづくり自治協議会
 ☎082-429-1879(吉川地域センター内)
 yoshikawa.jitiky@outlook.jp

児童の通学を見守る

地域ボランティア活動

吉川小学校の児童は、朝7時30分頃には小学校に到着してきます。通学路では、近くの方が付き添い小学校近くまで一緒に歩いていきます。

学校近くの県道横断歩道には、付き添いの方・学校の先生・交通指導員が注意を払う見守っています。この



【二宮商店前での横断風景】

光景は、夏も冬も同じように繰り返されています。付き添われる皆さんは、ボラン

事件・事故要因が増加、安全安心な地域づくりが急務

いま吉川地域では、大規模企業の操業が相次ぎ三、〇〇〇名を超える方が吉川工



業団地に通勤しています。朝夕の時間帯は、途切れのない通勤車両が通行しています。地域を縦断する県道は、戸坂エリアなど一部を除き歩道付きの道路が整備

ティア活動として、児童の安全を見守っています。「見守りが習慣化して、土日の朝はリズムが崩れる」と話される方もおられます。

地域の皆さんに見守られて通学する子供たちがいます。

アンケート集計作業を始めています

12月末を締切りとした「吉川まちづくりに関するアンケート」の集計作業を、ひとむすび・学生協働支援隊と事務局で進めています。アンケート回収には、402名の方の協力をいただきました。回収率は約54%、全世代から回答を頂きました。集計結果は、理事会で確認した後、遅くとも令和4年度通常総会迄には住民の皆さんに報告することとして作業を進めています。

地域の見守り活動が重要に

一方、子どもたちが事件事故に巻き込まれる可能性は、午後・夕刻の方が朝よりは高いとの報告も出されています。地域では独居の高齢者や高齢者のみ世帯も増えています。このことから地域の見守り活動が重要となつてきます。この活動は行政に依存するだけでは解決できない面もあり、地域の方々での共助も大切です。

地域のこれからを見据えて、安全・安心な地域を、子供たち世代のこれからの残していくための取組みを皆さんで考えていきましょう。いま活動されている方皆さんに感謝して、



事故防止は地域課題であり、対策の具体的実施が急がれます



竹内農場産
ラベル →

災害による貧しい人や被災者に対する救援が竹内家などで行われていました。庄屋となった後は、他地域をまとめる割庄屋なども務め、地域の農

業振興や雇用の場を作る事業も進めていきました。これらの施策として、①小作米の品評会、②酒造業、③竹内農場、④気象観測所と時鐘報の設置による農産物の収穫量増などが進められていました。

竹内家が吉川村で初めて庄屋として名を残したのは一七九一年のこと。それ以前、一七二〇年には村内第一位の田畑所持者となり、その時期、天候不順やウン

力等による収穫減によって飢饉状態が続き、吉川村では庄屋が出せないほどの影響を受けていました。

一八七二年(明治5年)に庄屋制が廃止。新たに戸長制度施行で初代戸長、戦前戦後の村長就任、農協の前身吉川信用組合の設立と組合長就任など、地域の指導者としても活躍された歴史を学びました。

次回、「村の支配と行政組織」について学んでいくこととしています。

吉川小学校PR動画、Youtubeに



次は、先生にお話を伺ってみようかな

ひとむすび・学生協働支援隊のメンバーなどが作成に関わってきた吉川小学校のPR動画「知ってほしい！私たちの小学校—大学生による東広島市立吉川小学校」が完成し、12月下旬からYoutubeにUPしています。市教育委員会の後援も頂いています。

来年度60名を下回る状況もありますが、小学校の魅力、地域とのつながり、先生の思いなどを動画にまとめ、地域の魅力を発信して頂いています。是非ご覧になっていただき皆さんで吉川小学校の魅力を発信しましょう。合わせて、ご覧になっての感想を吉川自治協事務局までお聞かせください。

飢饉状態を乗切る歴史

史跡保存会で学ぶ

第14回吉川史跡保存会を1月7日開催しました。会には14名が参加し、吉川村における竹内家のレガシーについて吉川村誌をベースに考えていきました。



通いの場「吉川げんき塾」1月13日の回は、市医療保健課の方から百歳体操の指導を頂きました。体操の後新型コロナウイルス感染症予防を意識した活動のポイントを聞きました。

その中で、コロナ禍で急増する「健康2次被害」として、コロナによる外出自粛で特に高齢の方は、免疫力の低下、ストレスによる心の病、筋力低下による転倒骨折・認知機能の低下から要介護・寝たきりになる等のリスクを高めることにもつながると話されました。

更に、運動している人の方が感染・重症化リスクも低いことが分かってきたとのこと。

これらことから感染防止対策を講じることで、通いの場を可能な限り継続するようお話がありました。

現在吉川げんき塾では、前後左右とも2m間隔を確保して席を設け、入館中は全員がマスクを着用しています。

実施する体操・脳トレとも、参加者同士が直接触れない、大声を出さないこと等々を注意して行っています。

これからのウイルスの感染症が続くことが想定されています。東広島市などの指導による感染防止策を正しく実施し、高齢者のフレイル(虚弱体質化)対策に対応する取り組みを進めていくこととします。

入場時は、体温測定と手指消毒を行い、体操の前には脈拍数の確認を行います。

実施する体操・脳トレとも、参加者同士が直接触れない、大声を出さないこと等々を注意して行っています。

これからのウイルスの感染症が続くことが想定されています。東広島市などの指導による感染防止策を正しく実施し、高齢者のフレイル(虚弱体質化)対策に対応する取り組みを進めていくこととします。

これらことから感染防止対策を講じることで、通いの場を可能な限り継続するようお話がありました。

通いの場はフレイル対策として

感染防止を徹底し可能な限り継続

吉川まちづくり自治協議会…2月予定表

- 1月29日：第6回理事会(延期)
 - 1月30日：市長選挙(市)
 - 2月4日：第15回吉川史跡保存会(検討中)
 - 2月6日：不法投棄缶瓶回収(中止)
- 開催延期会議 開催日は別途連絡します
- ・吉川活性化PJT会議(第19回)
 - ・第6回理事会
- ※(市)：市主催行事 開催日等が変更となる場合があります

元気輝きポイント認定団体

- 吉川げんき塾：2月スケジュール
毎週木曜日10時~11時30分
於：吉川地域センター
- 2月3日：体操、脳トレ
 - 2月10日：体操、脳トレ
 - 2月17日：体操、脳トレ
 - 2月24日：口腔ケアお話
- 参加は、いつでもOKです。
まずは見学参加しませんか

よしかわの1枚



コミュニティ広場から、初日の出

東広島市市民活動情報サイト「すきかも」もご覧ください

<https://www.higashihiroshima.sukikamo.jp/>

“よしかわだより”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。